

(関係部門へご回覧下さい)

業種別にみる事業性評価の具体化と実践

金融庁は地域金融機関に対して、企業の経営改善や事業再生を促進する観点から、地域金融機関が「保証や担保等に必要以上に依存することなく、企業の財務面だけでなく、企業の持続可能性を含む事業性を重視した融資や、関係者の連携による融資先の経営改善・生産性向上・体質強化支援等の取組が十分なされるよう、また、保証や担保を付した融資についても融資先の経営改善支援等に努めるよう」求めています。

また、「金融仲介機能のベンチマーク」においても、事業性評価に関連する項目が数多く提示されており、事業性評価への取り組みが問われています。

「事業性評価」を通して取引先企業の窮境原因や課題を把握し、経営改善や企業再生に繋げることが求められていますが、地域金融機関の取組姿勢やコンサルティング能力はバラツキがあり、余り効果的でないことが金融庁調査で明らかになっています。

本セミナーでは、事業性評価の実効性を高めるため、製造業、建設業、小売業、医療・介護の4つの業種を具体的に掘り下げ、一般論でない業種別の評価方法と課題発見方法、支援方法を評価シートも用いて解説します。

- ・ 事業性評価を具体的にはどのように展開するのですか？
- ・ 事業性評価を一般論ではなく業種別に展開できますか？
- ・ 業種別の現場観察や経営者面談のポイントがわかりますか？
- ・ 業種別に支援のポイントがわかりますか？
- ・ 外部の専門家をコーディネートして課題解決ができますか？

開催日：2018年5月14日（月）・15日（火）2日間

会場：ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：

（敬称略）

株式会社SKY経営研究所

代表取締役社長

取締役副社長

横山 皓一

福塚 義雄

CMC

Computer Based Management College

<http://www.nikkinn.co.jp/cmc/>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援 一般社団法人 全国地方銀行協会
一般社団法人 第二地方銀行協会
一般社団法人 全国信用金庫協会
一般社団法人 全国信用組合中央協会

☆セミナーのねらい

- ・事業性評価を一般論ではなく業種別に具体的に展開する必要があります。
- ・業種別の独自の環境や事業展開、財務基準などを踏まえた評価を構築する必要があります。
- ・事業性評価の基本である現場での観察やコミュニケーションなどの情報収集能力を高めて企業の実態を把握する必要があります。
- ・業種別の課題パターンと課題解決の支援セオリーを知る必要があります。
- ・業種別の成功パターンと失敗パターンを知る必要があります。

☆研修のテーマ

- ・業種別の事業性評価の方法
- ・業種別の事業構造とビジネスモデルの革新の仕方
- ・業種別の成功例の研究
- ・業種別に企業を成長軌道に乗せる継続的支援方法

☆研修の対象

本部債権管理部門の管理者及び担当者、本部審査部門の管理者及び担当者、現場で取引先の経営改善計画作りに携わる管理者及び担当者 など

☆開催要綱

日 時：2018年5月14日（月）、15日（火） 2日間

時 間：5月14日（月） 10：30～17：00（10：00受付開始）

5月15日（火） 9：30～16：00（9：00受付開始）

会 場：ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

受講料：

- ・CMC会員価格 64,800円（本体価格 60,000円）
[CMC金融機関機械化研究会会員]
[CMC金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員]
- ・後援協会会員機関価格 69,120円（本体価格 64,000円）
[後援協会会員機関]
- ・一般価格 73,440円（本体価格 68,000円）

（2日間とも昼食はこちらで用意いたします）

<講師の紹介>

SKY経営研究所 代表取締役社長 横山 皓一 氏

さくら銀行（現 三井住友銀行）出身。営業店、本部勤務を経て、さくら総合研究所で経営コンサルティング部長、取締役として多くの企業の経営指導、研修に携わる。その後、日本総合研究所を経て株式会社SKY経営研究所を設立、日本生産性本部認定経営コンサルタント、リスクマネジメント協会会員（ディプロマ資格）、日本インターンシップ学会会員（監事）。

取締役副社長 福塚 義雄 氏

さくら銀行（現 三井住友銀行）出身。営業店、本部勤務を経て、さくら総合研究所、SMB Cコンサルティングで株式公開支援室室長、成長戦略室室長として多くの企業の経営コンサルティング、研修に携わる。その後、株式会社SKY経営研究所を設立。千葉県中小企業診断士協会所属。日本生産性本部認定経営コンサルタント。

業種別にみる事業性評価の具体化と実践

5月14日（月）

10：30～17：00（10：00 受付開始）

5月15日（火）

9：30～16：00（9：00 受付開始）

1. 金融行政方針と事業性評価

- (1) 事業性評価とは？ 定義ができますか
- (2) 事業性評価の内容とポイント
- (3) 高収益企業のモデル式と事業性評価
- (4) そもそも事業性評価は何のために行うのか
- (5) 金融レポートと事業性評価
－機能していない事業性評価

2. 製造業の事業性評価

- (1) 製造業は他業種と何が違うのか？
- (2) 製造業を理解する者は全ての業種に強い
- (3) 製造業の目の付けどころ
 - ① 何を造っているのか（製品視点）
 - ② 誰に売っているのか（顧客・販売視点）
 - ③ どのように造っているのか（製造視点）
- (4) 製造業の忘れてならない重要指標
- (5) 取引企業のビジネスモデルを図解できるか？
ビジネスモデルを磨いているか？
- (6) 事業性評価と経営支援、アドバイス
 - ① 長寿企業への諸支援
 - ② 高収益企業への諸支援
- (7) 経営支援の在り方と地方創生

3. 建設業の事業性評価

- (1) 建設業理解のための必須知識
- (2) 建設業7つの特色とは
- (3) 建設業会計と財務諸表の特徴
- (4) 建設業界を取り巻く外部環境が大きく変わった
- (5) 建設業の内在リスクと日常管理のポイント
- (6) 事業性評価で経営課題が見えるか？
- (7) これからの建設業に何が必要か？
－経営指導とアドバイス

4. 小売業の事業性評価

- (1) 小売業の大きなトレンドを知る
業態化、多店化、通販化、移動販売化、
配達サービス化など
- (2) 小売業の差別化成功ポイントと事例
- (3) 小売業の基本財務指標と財務評価との融合
- (4) 小売業事業性評価7つのポイントと標準化
- (5) 小売業評価の目のつけ所
- (6) 価値分析で小売業を評価する
- (7) 小売業の代表的な課題と支援・解決方策

5. 医療・介護の事業性評価

- (1) わが国の社会保障制度と医療・介護事業の
方向性－2025年、2035年目標を知る
- (2) 医療と介護の一体改革とその流れ
 - ① 医療の流れ
 - ② 介護の流れ
 - ③ 法人改革の流れ
- (3) 絶対に押さえておきたい目の付けどころ
－経営指標視点、現場視点、顧客視点など
- (4) これからの医療・介護事業と経営戦略
- (5) 医療・介護の成功事例から学ぶ
- (6) 事業性評価と経営支援、アドバイス

6. まとめ

- (1) これから全業種共通に求められるものは？
- (2) ビジネスモデル構築とその革新
- (3) 求められているコンサルティング能力を磨く

※2日間とも昼食はこちらで用意いたします。

※講義の合間に適宜休憩時間を設けます。

16

第94回 金融機関 融資業務セミナー

「業種別にみる事業性評価の具体化と実践」

ホームページ用受講申込書（5月14日・15日開講）

貴社名

所在地 〒

TEL

FAX

Eメール

受付番号	参加者氏名	所属（部・課・グループ）	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

☆一週間経過しても届かない場合はご連絡ください。

受講料 A：CMC会員価格 64,800円（本体価格60,000円）

B：後援団体会員価格 69,120円（本体価格64,000円）

C：一般価格 73,440円（本体価格68,000円）

お問い合わせは、（2日間とも昼食はこちらで用意いたします）

株式会社 CMC

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注：振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042 （名義） 株式会社 CMC

振込予定日（できるだけご記入ください） 月 日

受講についてのお願い

- ①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁（枝番数字）を付記してください。
振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日一週間以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。
- ⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。
- ⑥ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用ください。
- ⑦諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。